

現状

(1) 観光商品づくり、周遊促進・滞在延長につながる取組を支援

- ① 中山間地域での観光商品の造成 (R7 30商品造成予定)
- ② 中山間地域での分散型ホテルの構築 (6エリアでの事業計画策定・調査、6グループへの専門家派遣等)

(2) 「あんぱん」「らんまん」を生かしたプロモーション、旅行会社セールスの実施

- ① 県外百貨店や大手書店と連携した高知県フェアの開催 ② 「とさとさ」と連動した観光PRイベントの開催
- ③ 旅行会社向けモニターツアーの実施による旅行商品化の推進

(3) 県内周遊を促進するイベントや企画の実施

- ① やなせたかし記念館・牧野植物園のセット券販売 ② 龍馬パスポートを活用した周遊企画の実施 (レアスタンプ企画等)
- ③ 連続テレビ小説「あんぱん」と連携した企画展や、やなせさんの作品展を中山間地域において開催

目標

- (1) 年間を通じて、よさこい高知文化祭2026に連動し、情報発信や商品造成を行い、誘客の拡大、周遊の促進を図ることが必要。あわせて、この機会に訪れる多くの観光客に、本県ならではの「文化」を体感いただくことで、リピーター化を促すことが必要

- (2) 世界から本県が『旅の目的地』として選ばれるよう、インバウンドにも訴求力のある本県ならではの「文化」を強力なコンテンツに磨き上げていくことが必要

展開イメージ



新 1. 「よさこい高知文化祭2026」に連動した情報発信・誘客

- (1) 誘客の核となるイベントの開催や、神楽や祭りなど地域ならではの伝統文化、絵金蔵や紙の博物館などの歴史文化施設、全国的に高く評価されているおきゃくや田舎寿司などの食文化を発信
- (2) 文化祭をきっかけに来県される方が、旅の計画を立てられるよう、旅行の手配を行うトラベルセンター等を通じて、どっぶり体験を案内



拡 2. 「ドラマが生まれる場所 高知」を前面に打ち出した誘客

- (1) 住民との交流や地域が大切に守ってきた自然体験など、観光資源の背景にあるドラマやストーリーを丁寧に伝えるプロモーションコンセプト「ドラマが生まれる場所 高知」を前面に打ち出した誘客
- (2) 連続テレビ小説「らんまん」や「あんぱん」のゆかりの地や百貨店等との連携による高知県フェア等の開催

3. 中山間地域を中心とした商品づくり、長期滞在の地域づくりの推進

- (1) 地域ならではの魅力ある素材を生かした観光商品づくり
[R7に販売を開始した商品例]
・幡多公設市場での模擬競り体験 ・予土線と自転車、ラフティングで巡る四万十川の旅



拡

- (2) 長期滞在の地域づくりの推進
 - ① 分散型ホテルの構築に向けた事業計画の策定や宿泊施設の魅力向上に向けた取組を支援
 - ② 歴史的な町並み等を生かした分散型ホテルを核とした地域づくりに向けたエリアの可能性調査を実施
 - ③ 中山間地域における長期滞在を図るため、空き家等を活用した宿泊施設の開設を支援

4. 「ゆかりの地」を中心とした県内周遊の促進

拡

- (1) 牧野博士ゆかりの地 (高知市・佐川町・越知町・草花の群生地等) や、やなせさんゆかりの地 (物部川エリア、ごめん・なはり線沿線、その他キャラクターがある市町村) を紹介するとともに、地図上で、どっぶり体験商品を表示し、予約から購入まで一気にできるよう特設サイトを改修し、県内各地への周遊を促進
- (2) 「らんまん」を契機に重点的に取り組んだ草花の群生地のガイドツアーや、「あんぱん」にあわせて取り組んでいる物部川エリアでのガイドツアーを、引き続き案内して周遊を促進

1 誘客

① よさこい高知 宵の舞 ～秋の陣～

- ・ 文化祭期間中の週末を中心に、よさこい鳴子踊りや伝統芸能（神楽、太鼓など）の披露、高知城の夜間開館などの夜間イベントを実施
- ・ 誘客の核として積極的に情報発信することに加え、前泊、後泊を促す



② よさこい高知 宵の舞 ～冬の陣～

- ・ 文化祭終了後のR9.1に、よさこい鳴子踊りの披露、高知の食文化（おきゃく、田舎寿司）の体験、高知城の夜間開館などの夜間イベントを実施
- ・ 文化祭の盛り上がりの継続、閑散期の誘客を図る



2 周遊促進

① 旅行会社向け助成制度の拡充

- ・ 文化祭に関連する文化施設などのツアーへの組み込みを促すよう助成制度を拡充

② 文化祭トラベルセンターを通じた商品の紹介

- ・ 文化祭に参加する方に、トラベルセンター等を通じて、事前に、文化施設や体験プログラムなどの情報を提供